

# 建設環境常任委員会会議録

〔令和 6 年 12 月 定例会〕

12 月 16 日 開催分

福岡県筑紫野市議会

# 筑紫野市議会 建設環境常任委員会 審査日程

令和6年12月16日（月） 会場：第1委員会室

時 間	案 件		所 管 課	ペ ー ジ
10:00	所管事務報告	令和6年度一般会計予算の主たる事務事業の進捗について	建設部 環境経済部	2
	所管事務報告	筑紫公園整備事業について	管理保全課	32

## 令和6年第5回（12月）筑紫野市議会定例会 建設環境常任委員会

○日 時

令和6年12月16日（月）午前10時00分

○場 所

第1委員会室

○出席委員（7名）

委 員 長	宮 崎 吉 弘	副 委 員 長	段 下 季一郎
委 員	田 中 允	委 員	横 尾 秋 洋
委 員	辻 本 美惠子	委 員	城 健 二
委 員	前 田 倫 宏		

○欠席委員（0名）

○傍聴議員（0名）

○出席説明員（10名）

建設部長	野 田 清 仁	都市計画課長	鶴 川 和 宜
建築課長	永 利 啓 次	土木課長	深 見 勝 彦
管理保全課長	菊 武 秀 明	公園担当係長	原 田 裕 介
環境経済部長	平 嶋 顕 治	環境課長	益 永 晃
農政課長	松 永 崇 臣	商工観光課長	川 口 隆

○出席事務局職員（3名）

局 長	荒 金 達	課 長	高 木 美智子
主任	本 間 俊 充		

開会 午前10時00分

---

○委員長（宮崎吉弘君） 皆さん、おはようございます。それでは、建設環境常任委員会の所管事務報告を行ってまいりたいと思います。

担当の皆さんのが見えですので、紹介をしていただいた後に、説明をお願いしたいと思います。

今回の議題は、令和6年度の一般会計予算の主たる事務事業の進捗状況についてです。

まずは環境経済部のほうからお願ひします。（「何ページ」と呼ぶ者あり）ここに書いてあります。一覧があったでしょう。前お配りしていたと思いますけど。それを見てください。よろしいですか。

部長。

○環境経済部長（平嶋顕治君） おはようございます。環境経済部長の平嶋でございます。

今日は環境経済部の令和6年度一般会計、主たる事務事業について説明させていただきます。

説明員の紹介をさせていただきます。環境課長の益永でございます。

○環境課長（益永 晃君） 益永です。よろしくお願ひします。

○環境経済部長（平嶋顕治君） 農政課長の松永でございます。

○農政課長（松永崇臣君） 農政課長の松永です。よろしくお願ひいたします。

○環境経済部長（平嶋顕治君） 商工観光課長の川口でございます。

○商工観光課長（川口 隆君） 商工観光課長の川口です。よろしくお願ひいたします。

○環境経済部長（平嶋顕治君） よろしくお願ひいたします。

環境課から順番に説明をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

○委員長（宮崎吉弘君） では、部長。

○環境経済部長（平嶋顕治君） それでは、サイドブックスのほうの9ページを開いてもらえればと思います。よろしいですか。

○委員長（宮崎吉弘君） はい、いいですよ。

○環境経済部長（平嶋顕治君） 9ページのほう、環境課から行かせていただきます。

まず1番目、新エネルギー設備普及事業ということで、予算額が500万円。内容としては、太陽光発電システム、家庭用燃料電池、住宅用蓄電池の設置補助費でございます。10月末現在で申請受付件数が29件、288万5,000円の申請があつております。

次に2番目、愛護動物対策事業ということで、予算額180万円。飼い主のいない猫によ

る被害を防止するため、地域猫活動をする者に対して不妊去勢手術等に係る費用を補助するものでございます。令和6年度から不妊去勢手術及びワクチン接種、ウイルス検査に係る費用の市独自予算を確保しております。10月末現在で、市の不妊手術件数36件、去勢が15件、ワクチン12件、支払い額が78万690円。県によるものが、不妊が8件、去勢11件で、支払い額38万4,000円となっております。

次に3番目、環境基本計画見直し事業といたしまして……。

○委員（田中允君）　ずっと進めて後から質問していくんですか。

○環境経済部長（平嶋顕治君）　1ページごとぐらいでよろしいですかね。

○委員長（宮崎吉弘君）　いいですかね。はい、お願ひします。

○環境経済部長（平嶋顕治君）　環境基本計画見直し事業ということで、予算額636万7,000円。内容としましては、第三次筑紫野市環境基本計画及び筑紫野市地球温暖化対策実行計画の改定を行うものということで、委託先が日本環境衛生センター、契約金額が276万1,000円ということで、これは入札による確定額ということになっております。

次に4番目、ごみ指定袋等購入・販売事業ということで、予算額1億5,038万1,000円。ごみ指定袋、粗大ごみシールの作成及び販売委託ということで、販売実績は令和5年度が610万2,810枚、6年度が購入実績を基に614万4,200枚。販売委託先は筑紫野市商工会。10月末現在で1,531万2,300円の支払いをしております。ごみ指定袋の購入費としましては、10月末現在で5,256万3,406円の支払いを行っておるところでございます。

次、5番目、古紙集団回収奨励事業といたしまして、予算額1,800万円。内容としましては、古紙等の集団回収を実施する町内会及び社会教育団体等への奨励金。登録が202団体ございまして、10月末現在、申請団体数が159団体、交付額が397万5,808円でございます。

次に6番目、し尿運搬業務運営事業4,414万2,000円。内容といたしましては、原田し尿中継基地の運営管理及び両筑苑への移送業務。し尿中継基地の老朽化した設備、機器を改修するもの。し尿及び浄化槽汚泥受入槽の防水改修工事等ということで、まず中継基地管理業務委託料ということで、筑紫環清協同組合に対しまして委託金額534万6,000円。し尿処理運搬委託といたしまして、同じく筑紫環清協同組合に1,931万1,600円。あと、すみません、この表でちょっと漏れておるんですが、原田し尿中継基地地下貯蔵槽ほか改修工事としまして、工事を今やっている最中でございます。工期が10月24日から2月14日まで。契約者が丸源産業で、契約金額が950万円程度ということで今やっているところでございます。

まず、環境課、1ページ目の説明を終わりたいと思います。

○委員長（宮崎吉弘君） 今、1ページ6項目の説明がありましたけど、質疑のある方はありますか。

田中委員。

○委員（田中 允君） 順番に行くか。質問でいいの。

○委員長（宮崎吉弘君） いいですよ。

○委員（田中 允君） これ、不妊たいな、不妊治療とか去勢手術……。

○委員長（宮崎吉弘君） 押してもらっていいですか。

○委員（田中 允君） 不妊治療とか去勢手術とかのあれですけども、これは市独自予算確保というはどういう意味ですかね。他市町との比較はどのようになっていますか。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） 令和5年度においては県の補助が2分の1ありますと、令和6年度からは市で補助を独自に行って、単費で枠をいただきまして、その中で不妊手術や去勢手術、そして市独自でワクチンのほうを行っておりますので、予算額を市独自で確保して運営しているというような状況でございます。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） 犬のワクチンはどんな感じですか。犬のワクチン注射とは、どげなど。

○環境課長（益永 晃君） 犬ですか。

○委員（田中 允君） うん。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） この事業とは別に、飼い主さんに集団接種を年度頭に行っておりまして、その中で集団接種で行っております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） 飼い主に。何名おると。これをしよる集団がおるわけやろ。何人おると、その認定した人は。

○環境課長（益永 晃君） それは、この地域猫の分ですかね。

○委員（田中 允君） そう書いてある。去勢。うん、そうそう、このワクチンたいな。12件と書いてあるやん。

- 委員長（宮崎吉弘君） 課長。
- 環境課長（益永 晃君） 大体市内で10団体ほどいたと記憶はしています。
- 以上です。
- 委員（田中 允君） 人数は。
- 委員長（宮崎吉弘君） 課長。
- 環境課長（益永 晃君） すいません、人数のほうはちょっと把握はしておりませんが、大体地域で三、四人はいらっしゃったと思いますので……。これはちょっと記憶が定かでないので。まあ10団体ほどいらっしゃるということでございます。
- 以上です。
- 委員長（宮崎吉弘君） 城委員。
- 委員（城 健二君） 今の関連ですが、まずこの地域猫活動をする者と書いてあります  
が、これが今言われた地域で三、四人おられるということなんですかね。そういうことじ  
ゃないんですか。
- 委員長（宮崎吉弘君） 課長。
- 環境課長（益永 晃君） 地域猫活動自体は市民活動になっていまして、地域で餌をや  
ったりトイレの場所を確保したり、そういうことの市民活動をやっていくんですけども、  
あくまでも地域の方の理解がないとできませんので、地域の中であるところとないところ  
がございます。その中で、猫好きの方ですけど、やっぱりどうしてもふんの被害等があり  
ますので、地域の中でふんを1か所でしてもらったり、餌をやったり、1世代で終わるよ  
うに去勢手術や不妊治療を行っているというような状況でございます。
- 以上です。
- 委員長（宮崎吉弘君） 城委員。
- 委員（城 健二君） 今の関係なんですけど、そうすると例えば野良猫というのがいま  
すよね。いわゆる耳をこうまだやられてない、去勢とか避妊されてない猫というのがいる  
んだけど、じゃあ一般市民がそれを捕まえて持ってくれば、それを去勢とか避妊とかやつ  
てくれるということですか。そうじゃなくて、やっぱりその持っていく人は登録か何かさ  
れているんですかね。
- 委員長（宮崎吉弘君） 課長。
- 環境課長（益永 晃君） 市の事業といたしましては、地域猫活動を行う団体さんを登  
録した後に行うということになっています。
- 以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 城委員。

○委員（城 健二君） そしたら、これ、不妊、去勢、ワクチンという形で支払われているんですが、不妊は1件当たり幾らかかっているのか、それと去勢は幾らかかっているのか、あとワクチンが幾らかかっているのか分かりますか。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） 上限額になりますけども、雌の不妊手術が2万6,000円、雄の去勢手術は1万6,000円、市独自のワクチン注射が6,000円となっております。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） そしたら、これとまたちょっと離れるけど、結局野良猫やら捕まえるやん、野良犬やら。それはどうやって処分したらいいと。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） 捕まえたたらというのは、例えばおりに入ったとか、そういう話ですか。

○委員（田中 允君） そうそう。

○環境課長（益永 晃君） 基本的に法律上では、何でしたっけ、ペット絡みの法律があるんですけど……。動物愛護法ですね。そちらのほうで、捕まえるということは法律上できませんので、基本的には捕まつたらリリースしていただくというようなことになります。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） そこがおかしいわけ、俺に言わせたら。保健所に持っていたら昔は処分してくれよったたいな。そしたら、今はそれをまた放さないかんと。また野良犬や野良猫が悪いことしようもん。そういうとの対策はどのように思っているんですか、市は。被害者もおるわけやから。うちあたりも野良犬や野良猫がしょっちゅう来て困りよるみたい。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） どうしても法律上で捕まえてはいけませんので、できる措置としては、やはり生ごみあたりが荒らされないように、例えば可燃ごみのときにはボックスの中に入れて猫が食い散らさないようにするとか、そういう工夫が必要なところは現状ではあります。

以上です。

- 委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。
- 委員（田中 允君） そしたら、野良犬や野良猫がおるたい。そしたら、それを捕まえたら、ぱっと持っていったら去勢してやるわけ。去勢とか不妊とかしてやるわけ。
- そして、もし被害があったときは、誰が面倒を見るわけですか。
- 委員長（宮崎吉弘君） 課長。
- 環境課長（益永 晃君） 基本的に、先ほど言ったとおり団体登録をしないといけないということと、去勢した後のケアというか、地域で見守っていくというような体制をつくっていかなければできませんので、どうしても被害が起きないように自分の家庭の周りでは生ごみを出さないとか。でないと、我々市も賠償とかできませんので、ごみ捨てのときにはそういった啓発を進めているところでございます。
- 委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。
- 委員（田中 允君） 犬だったら地をはつていくからある程度ガードできるけど、猫は屋根をどこでも飛び上がっていきよるよ。そういうとをどうやってガードするわけですか。
- 委員長（宮崎吉弘君） 課長。
- 環境課長（益永 晃君） どうしてもやっぱり猫が入っていくものとして、トイレもあるかもしれませんけれども、一つはやっぱり生ごみの臭いがするというようなところ、あと、よければ市のほうでも2週間ほど猫よけ器をまずお試しでお貸ししていますので、そういうものを貸して、効果があれば自らの家庭で購入をしていただくとか、そういう擊退というか近寄らせない方法も今、市のほうで取り組んでおります。
- 以上です。
- 委員長（宮崎吉弘君） 城委員。
- 委員（城 健二君） すいません、今の猫よけ器というのは具体的にどういうやつですか。
- 委員長（宮崎吉弘君） 課長。
- 環境課長（益永 晃君） 猫よけ器は機械なんんですけども、ちょっと人間の耳には聞こえにくいようなものを発して撃退するというようなものでございます。これが確実に効くとか効かないとかは、貸した後に、「もう寄りつかんごとなつたけん、やっぱりうちで買おう」とか、そういったのはあるみたいでございます。
- 以上です。
- 委員長（宮崎吉弘君） 辻本委員。
- 委員（辻本美恵子君） 基本的に、この事業予算の180万円の目的というのは、さつき

田中委員が言わされた地域で野良猫に困っているという状態を解決するために、市が本来野良猫を捕まえて対策をしないといけないという部分を、このボランティア団体がやっていただいているので、それに補助をしているというお金だということだけでいいんじゃないですかね。本当だったら行政が市民の要望によってやらないといけないところを、市民の団体にしていただいている。

市民は、今10団体だけど、本来あれば地域猫活動というのは、それぞれの行政区単位でも、自治会単位でできればその自治会内の困り事を解決するために地域猫活動をしていただければいいんだけど、そういうのもお勧めしながら、実際には10団体の市民が頑張つてもらっている、それに対する補助という金額がこの額だというふうに、予算の執行状況で見れば、それだけでいいんじゃないですか。

その後の野良猫対策とかいうのは、それはまた個人の問題で。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） いや、個人じゃないよ。そしたら、市が去勢とか避妊とかそういうのをするなら、個人で持っていっても受け付けないかんやろうもん。何で団体を通さないかんの。それはおかしいやない。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） あくまでも、これは地域の猫活動として行っています。個人で行う方法というのもちょっと御紹介はしております。どうぶつ基金というのがありますし、それに個人で申し込んで去勢手術や避妊手術をするというようなこともできますけれども、あくまでも、その辺りの地域の猫を捕まえて手術して終わりというわけではなくて、その猫を地域の中で育てていくというような手法もありますので、決して団体だけということではない手法もございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） じゃあ、ボランティアというけど、行政区でそういう取組、地域で困っているから地域でやろうというときに、そういう行政区、八十幾つかあるやろ、約80行政区の中でそういう取組をしている行政区を、ちょっと参考にしたいと思いますので、教えてください。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） 私がよく聞くのは、むさしヶ丘辺りで地域猫活動をやっているというふうにはあります。野良猫関係でちょっと困っていたら、紹介は環境課のほうでできますので、その成果あたりも現場の声を聞くことができると思います。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） 辻本委員。

○委員（辻本美恵子君） ちなみに、私が知っている限りでは、紫ヶ丘、大門、美しが丘の北、南、それともう1か所どこか、全部でやっぱり行政区単位で話し込みをして、このボランティア団体が地域で困っている人から電話をいただいたら、環境課を通して一緒にその行政区に話に行って、そういう組織ができるように努力をされている途中なんですよ。だから、全ての行政区でそういう団体ができれば……。

地域猫の意味というのはそういうことにあるわけで、そこの地域猫の問題を解決しようというところに持つていければ一番いいというふうに頑張ってもらったら。それへの補助なんだからいいんじゃないですか。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） 勝手にボランティアで好きな人がやりよるだけであって、俺に言わせたらよ。やっぱり行政区あたりの取組をあなたたちがしっかりしてから、行政区あたりがそういう組織をつくっていかないかんやろうもん、本当に取り組むなら。今、好き勝手な人たちが、犬がかわいい、猫がかわいいという人たちが、それを育てるために1代だけで終わらせようとしてしよるかもしれんけど、それは行政として何で取り組まんとね。ボランティア任せなの。そこが分からん。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） 電話または事務所のほうに、猫の苦情についても、問合せ等あります。そういう活動があることもちょっと紹介をさせていただいているので、その都度啓発を。また、SNS等でそういう地域活動の報告もその都度行っていますし、ホームページのほうでもしっかりとそういう猫活動というものをやっていますよというようなことで周知を行っているところでございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） コミュニティセンターでコミュニティあたりがいろんな会議がありようたいね、いろんな部会やらね。そういう中で地域猫の話は、安全・安心部会やらあるけど、どこの部会に当たるわけですか。

○環境課長（益永 晃君） ちょっと休憩を。

○委員長（宮崎吉弘君） しばらく休憩します。

---

休憩 午前10時22分

再開 午前10時24分

---

○委員長（宮崎吉弘君） 休憩前に引き続き会議を再開します。

課長。

○環境課長（益永 晃君） 先ほどのコミュニティでの部会の話なんですけれども、ちょっと部会自体に所属しているかというのは分かりかねますけれども、やはり地域で困っていると、やっぱり区長さんとか、コミュニティの会長さんまでいらっしゃるとかはちょっと記憶にはございませんけれども、そうした中身でこの活動を各地区に入って説明をしたりは、所管課で隨時行っているところです。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） ほかの項目で質問はありますか。（「このページで」と呼ぶ者あり） はい、このページで。なければ次のページに移ります。

辻本委員。

○委員（辻本美恵子君） 3番目の環境基本計画見直し事業です。先日ちょっと説明があった分だと思うんですが、予算の額に比べて委託契約金額がかなり低いというのは何か理由があるんですか。それが一つですね。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） こちらの環境基本計画の見直しの積算については、国の技師あたりの単価に日数を乗じて積算したものです。あとは、この日本環境衛生センターの企業努力ではないかなと認識をしております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） 辻本委員。

○委員（辻本美恵子君） 確認ですけど、これは委託先が決まるときの入札の状況で、ほとんどのところがこのぐらいの金額だったということでいいんでしょうか。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） こちらについては入札形式で行っておりまして、日本環境衛生センターのほうが一番低かったと認識をしております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） ほか、ありますか。

辻本委員。

○委員（辻本美恵子君） 入札で安かつたらいいということではないと思うので、ちなみ

に何社あってどれぐらいの金額をほかのところが示していて、この金額になったのか。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） 入札基準に基づいた業者であったとは確認していますので、ちょっと業者数については追って報告をさせていただきたいと思っております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） ほか、ありますか。

辻本委員。

○委員（辻本美恵子君） 5番の古紙集団回収ですが、これは予算の説明のときにたしか199団体の予算だというふうに説明があったと思うんですが、ここでは今、登録が202団体で、にもかかわらず10月末で159団体で、予算が1,800万円に比べてまだ交付が400万円に満たないぐらいです。これは何か大きな事情があるのか。あるいは10月以降に予算のとおりの200に近いような団体から申請があって、予算の1,800万円ぐらいに近づいていくのかどうか、その傾向ですね。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） 金額の今後の増加については、おおむね見ている傾向によると、やっぱり年度末の3月が一番多かったと記憶をしております。登録数は、こちら200団体ほどなんですけれども、実質繰り返してこの事業に取り組んでいる団体は、もう一伸びはすると思いますけれども、200団体のうちやっぱり何十団体かはちょっと活動がなされていないものと見受けております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） 今、独自に、例えば近所の若江とか筑紫とか原田とか、そこでごみ分別で段ボールを持ってきたら、置く場所を何か所かセットしておるところがあるみたいな、分類して。そしたら、無料でしてくれるみたいな、そこは。そんなところが何か増えよるような気がして。今までなかったようなところにある。そういう施設ができようけんね、そこら辺の絡みというか。向こうもビジネスやから、もうかるけんしよるというのがあると思うけど。しかし、あんなのが増えようとよね、今。あげなとは、別に規制じゃないけど、どのように市としては捉えていますか。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○環境課長（益永 晃君） もともと古紙回収自体の件数が、やっぱり紙が減っていますので、どんどん低減の傾向にはあります。民間の古紙回収業者は、どちらかというとその

まま燃えるごみに捨てるよりも、古紙としてリサイクルできるので、それは悪いことではないかなと思うんですけれども、我々がやっているのは、社会教育団体さんとか地域とかに8円の補助金単価を出していますので、継続して団体さんを使われると運営の収入になりますので、極力こちらの回収のほうに来ていただけたらなとは思っております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君）ほか、ありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君）そしたら、次のページに行きたいと思います。

○環境経済部長（平嶋顯治君）次は、農政課でございます。

次のページの農政課、まず1番目、野菜振興対策補助事業、予算額108万円。農業振興を図るため、筑紫野農業協同組合が組織する各部会等に補助金を交付し活動を支援しています。部会が、ブロッコリ一部会、ブドウ部会、アスパラ部会、ふれあい市出荷組合、キクイモ、タケノコ、イチゴ、ショウガでございまして、こちらのほうは3月に支出予定でございます。

次に2番目、有害鳥獣対策事業としまして196万8,000円。有害鳥獣対策として、筑紫野市鳥獣被害防止対策協議会への有害鳥獣対策の経費負担や、電気柵購入、狩猟免許取得の補助ということで、筑紫野市鳥獣被害防止対策協議会に対し141万円、電気わな設置補助申請件数が今のところ6件で12万3,000円でございます。

次に、環境保全型農業直接支援費交付金事業、予算額154万4,000円。地球温暖化防止、生物多様性保全等に効果の高い環境保全型農業に取り組む農業団体等が実施する事業への補助ということで、対象団体が2団体、125万1,000円を3月に支出する予定です。

次に4番目、水田農業担い手機械導入支援事業ということで、水田農業経営に係る高性能機械等の導入（更新）に対する補助金を交付するということで、対象が1件、725万2,000円を予定しております。2月に支出予定でございます。

次に5番目、農業次世代人材投資事業ということで、予算額450万円。農業担い手の確保を図るため、青年等就農計画の認定を受けた新規青年就農者に対し資金交付ということで、対象者が認定新規就農者（就農時が49歳以下の方）に対して月額12万5,000円、年額150万円ということで、最長3年を予定しております。今のところ対象者が2名ということで300万円。上半期が10月、下半期は3月に支出予定ということでしております。

次に6番目、園芸農業等総合対策事業、予算額286万8,000円。競争力のある園芸農業の確立のため次の事業を実施するということで、中山間地の対策では、中山間地域の気温格

差や土壤条件を生かした園芸農業の振興を図るために必要な改善に係る経費に対する支援、2番目に園芸農業DX推進事業で、デジタル技術を活用した出荷予想、生産・販売管理の効率化につながる機器の導入支援ということで、今、対象が2件、286万8,000円で、1件目が11月に支出済み、もう1件が2月に支出予定でございます。

このページにつきましては以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 今、2ページ目の説明がありましたけど、質疑のある方はありますか。

前田委員。

○委員（前田倫宏君） 1番目の野菜振興対策補助事業でございますけれども、補助金の支出が3月で、もう年度末を予定されていまして、補助金としては当初の、その年度の活動支援という私は枠組みで考えているんですけど、毎年3月支出になっているんですか。それとも何か申請日が遅くてこういうふうになっているのか、ちょっと教えていただけたらと思います。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○農政課長（松永崇臣君） 部会の補助金につきましては、毎年3月に支出しております。これが、一応部会のほうからどういった活動をしたのかという報告等を受けた上でですね。要は視察に行ったりとか、こういった会議をしていますとかということで、支出の内訳が出てきますので、そちらの中身を確認して、最終的に交付の決定をして、3月に支出という形になっております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） ほか、ありますか。

城委員。

○委員（城 健二君） 4番の水田農業担い手機械導入支援事業ということでは、高性能機械のいわゆる補助金を出してあげるということなんですよね。これ、対象が1件725万2,000円ということですが、高性能機械というのはどういうものを指しているんですか。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○農政課長（松永崇臣君） 高性能機械の導入ということで……。そうですね、すいません、ちょっとお待ちください。今年が一応トラクターの購入の分が1台上がってきています。要はトラクターに、農薬散布とかそういうもののアタッチメントとかの新しい設備、そういうのをつけたもので農業を軽減するための、トラクタープラスアタッチメントみたいな設備をつけた購入機械になっています。

○委員長（宮崎吉弘君） 城委員。

○委員（城 健二君） これは、水田農業の担い手さんに一応補助するような形になるわけでしょう。そうすると、今農業をやられている方なんていうのは、ほとんどそういうのはもうお持ちになっていますよね、トラクターも性能のいいトラクターをお持ちになっているし、いろんな後ろにアタッチメントでつけるやつなんかもお持ちになっている中で、これは新しく担い手として農業を始められる方に補助されることになるんですか。

○委員長（宮崎吉弘君） しばらく休憩します。

---

休憩 午前10時38分

再開 午前10時38分

---

○委員長（宮崎吉弘君） 休憩前に引き続き会議を再開します。

課長。

○農政課長（松永崇臣君） 認定農業者というのは5団体あるんですけども、毎年機械の更新とか要望を聞いております。その5団体の中で毎年、やっぱり偏るわけにはいきませんので、ある程度中で順番を決めて、希望を聞いた上で購入をしていっています。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） ほか、ありますか。

田中委員。

○委員（田中 允君） 補助率は何割になつとるかいな。補助率は、全額、100%ですか。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○農政課長（松永崇臣君） 補助率につきましては、県のほうが3分の1になっております。

以上です。

○委員（田中 允君） 市は。検討してるので、検討していない。全く考えてないの。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○農政課長（松永崇臣君） 一応これは県の事業になっていますが、市の負担は6分の1となります。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） 横尾委員。

○委員（横尾秋洋君） そうすると、個人の人が、これに1,450万円ぐらい団体が払って、

県が3分の1の725万円をしとるということやから、実際の機械とすれば2,000万円を超す機械ということですね。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○農政課長（松永崇臣君） はい、そうなります。

○委員（横尾秋洋君） そう書いてもらうと分かりやすいんやけど。

○農政課長（松永崇臣君） はい、すいません。

○委員長（宮崎吉弘君） ほか、ありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君） それでは、次のページに移りたいと思います。

○環境経済部長（平嶋顕治君） 次が7番目ですね。7番目、畜産競争力強化対策事業ということで、予算額959万4,000円。畜産農家の飼養規模拡大に係る飼養管理施設等の整備に対して補助金を交付することで、畜産物の生産量を確保、競争力強化を図るための補助ということで、今現在対象が1件、429万9,000円、3月支出予定です。こちらは牛舎の建築をさせてもらっております。

次に、農村地域防災減災事業ということで、予算額4,699万2,000円。豪雨や地震等災害による農業用のため池の決壊を未然に防止するために、防災重点農業用ため池の劣化状況評価、地震・豪雨耐性を行い、必要に応じ改良工事を行うものということで、今回、耐震診断業務5池、契約件名がため池耐震診断業務委託で、五重谷池・大門池・片谷池・宮ノ前池ということで、委託期間が6月25日から来年の2月28日まで、請負業者が日設コンサルタントということになっております。

次に9番目、産地づくり推進補助事業（水田調整対策補助事業）として1,800万円。主食用水稻の生産調整実施に伴い交付対象作物を作付し、出荷または販売を行った農業者に対する補助ということで、こちらも3月に支出予定でございます。

次に10番目、荒廃森林整備事業、3,145万円。荒廃森林の再生及び森林の有する公益的機能増加のための森林整備費用ということで、契約件名が荒廃森林整備事業管理業務委託、契約期間が7月25日から来年3月21日までということで、こちらは県の広域森林組合に委託を行っております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） ただいま説明を受けました。質問のある方。

辻本委員。

○委員（辻本美恵子君） 当初予算の説明のときに、ため池診断を五つの池でやるという

ことで、今ここにある四つと原口池の名前が挙がっていたんですけど、そこはまだ手がついてないということなんですか。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○農政課長（松永崇臣君） 当初は5池を国ほうに補助金の要望をしていましたけども、ちょっと国の内示のほうが、やっぱり全体で自治体に対する内示が落ちてまして、うちのほうも満額補助金がつかなかつたということがございまして、県のほうと調整して、5池を4池を対象ということで今年実施をしております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） 辻本委員。

○委員（辻本美恵子君） では、原口池は後に回してもいいということでの判断ですか。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○農政課長（松永崇臣君） 今年している4か所につきましては、一応優先順位を決めて、近くに県道とかそういう重要な施設があるところを先にということで、今回4池のほうを先に調査を実施しております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） ほか、ありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君） なければ次のページに行きたいと思います。お願いします。

○環境経済部長（平嶋顕治君） 次、農政課、最後ですね。

11番目、森林環境譲与税活用事業ということで、2,913万4,000円。内容としましては、国から譲与される森林環境譲与税を活用して、間伐や人材育成・担い手確保、木材の利用促進等の事業を行うものということで、森林所有者意向調査、森林巡視、放置竹林整備、森林ボランティア活動運営、木育教室運営、林業用施設維持修繕工事、木材搬出促進事業補助金ということで、それぞれの委託が、森林巡視業務が来年の3月21日まで、次に森林所有者意向調査業務が来年の3月21日まで、放置竹林対策事業管理業務委託が来年の3月17日までということで、それぞれ県の広域森林組合に請負をさせてもらっています。それから木育教室が2回実施、森林ボランティア活動ということで11月23日、それから3月1日に予定をしております。あと林道の維持修繕工事は、今のところ3件実施しております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） 質疑のある方、ありますか。

横尾委員。

○委員（横尾秋洋君） 本当言うと予算のときに聞かないかんことなんやけど、今思いついたので。もともと林活議連を筑紫野市はつくったんだけど、その当時の林活議連をつくるときの話としては、税金関係が発生するよということで、林活議連をつくった市町村のほうにちょっと優先的に予算を回すよというような話があったので筑紫野市は林活議連をつくったんだけど、その効果というのはまだ今も継続しているんですかね。もうあってもなくても予算は予算で回ってきますよという形になっているのか、ちょっとその点だけ教えてくれませんか。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○農政課長（松永崇臣君） 森林環境譲与税につきましては、各自治体の森林の面積と人口と、あと林業関係の就業人数によります。その割合で筑紫野市は大体年間2,300万円から2,400万円ほど譲与税として入ってくる予定になっています。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） 横尾委員。

○委員（横尾秋洋君） そしたらもう林活議連を持とうと持つまいと、あまり影響はないということでいいんですか。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○農政課長（松永崇臣君） そうですね、林活議連があろうとなかろうと、もう面積とかそういう割合で入ってきますので、特段優先されるということはないと言っています。

○委員長（宮崎吉弘君） ほか、ありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君） それでは、次のページに行きたいと思います。

部長。

○環境経済部長（平嶋顕治君） 次は13ページからになります。

1番目、商工振興対策補助事業、予算額2,392万円。市内中小業者への経営改善や経営指導、地域振興策への取組事等を実施している筑紫野商工会に対する補助ということで、こちらのほうは交付済みでございます。

次に2番目、中心市街地活性化補助事業、150万円。中心市街地の活性化を図ることを目的に活動する「まちづくりN P O法人ほっと二日市」に対する補助金として、こちらも交付済みでございます。

次に、いきいき商工農フェスタ補助事業、こちらも150万円。本事業を実施する商工会に対する補助ということで、こちらは10月20日開催の観月会と同時開催、withということ

でさせてもらった分で、どちらも交付済みでございます。

次に4番目、空き店舗対策補助事業、366万4,000円。市指定の地域における空き店舗で開業する事業者に対する家賃の一部補助ということで、今3件実施中でございまして、継続が2件、新規が1件でございます。

次に5番目、紫プロジェクト推進事業ということで、予算額170万円。紫をキーワードとしたまちづくり活動をする筑紫野市商工会に対する補助金ということで、こちらも交付済みでございます。

6番目、経済対策事業住宅改修工事補助事業ということで、こちらが予算額1,200万円。自己の居住の用に供する住宅の所有者が、市内の施工業者によって住宅の改修工事を行う場合に経費の一部を補助金として交付するということで、こちらは今年の4月から建築課から移管されている事業でございまして、工事費の10%、上限10万円までの補助ということで、9月21日に先ほど言った予算額1,200万円の上限に達しましたので、今受付を終了しているところでございます。申請件数は133件上がっております。

このページにつきましては以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君）　ただいま説明を受けました。質疑のある方。

田中委員。

○委員（田中允君）　空き店舗対策補助事業たい。

○委員長（宮崎吉弘君）　マイクをいいですか。

○委員（田中允君）　継続2件、新規1件になつたけど、空き店舗やらまだたくさんあるんですか。

○商工観光課長（川口隆君）　この事業につきましては、西鉄二日市駅からJR二日市駅周辺の地域の中の空き店舗を対象としておりますが、現時点で13件ほど私どもで確認している対象となる店舗がございます。それ以外に、私たちがちょっと把握はできないけれども大家さんが独自に貸してある物件というのも複数あると聞いております。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君）　ほかありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君）　それでは、次のページに移りたいと思います。説明お願ひします。

部長。

○環境経済部長（平嶋顕治君）　次は、14ページになります。

7番目、地域活性化商品券補助事業、予算額3,900万円。地域活性化商品券（プレミアム付商品券）を発行する筑紫野市商工会に対する補助金ということで、商品券紙ベースが販売額が1億円、プレミアム率20%ということで、8月1日から30日までが申込み期限で、使用期間が9月29日から来年1月31日まで、申込み額が2億4,753万円、申込み件数が5,422件、当選件数が2,173件でございました。

次に、キャッシュレス（ちくしのペイ）でございますが、販売額が2億円、プレミアム率20%、申込み期間が10月1日から9日まで、使用期間が10月10日から1月31日まで、申込み額が3億1,397万円、申込み件数が7,547件、当選件数が4,799件でございました。

次に8番目、L Pガス料金高騰対策事業ということで、予算額6,606万円。L Pガス料金高騰の影響を受ける市内の世帯、事業所に対して、その負担軽減を目的に本事業を実施する一般社団法人福岡県L Pガス協会に対する補助ということで、対象世帯及び事業所に対してガス料金値引きを実施済みでございます。L Pガス協会より事業完了報告の提出予定ということになっております。

次に9番目、天拝山観月会開催事業（市祭「天拝山観月会」補助）ということで、360万円。二日市温泉と天拝山観月会実行委員会の活動補助ということで、10月20日にいきいき商工農フェスタと同時開催を行っておりまして、補助金のほうは既に交付済みでございます。来場者数は約1万5,000人でございました。

次に10番目、二日市温泉藤まつり開催事業（市祭「二日市温泉藤まつり」補助）ということで、予算額270万円。「二日市温泉藤まつり実行委員会」の活動費補助金ということで、4月21日開催済みでございまして、雨天のため、ちょっと来場者数が約5,000人程度ということだったんですが、補助金のほうも交付済みでございます。

次に、観光振興対策補助事業（観光協会）に対しまして、予算額が450万円。本市の観光振興の中心的な役割を担う筑紫野市観光協会の活動に対する補助金ということで、こちらのほうも補助金は交付済みでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君）　ただいま説明を受けました。質疑のある方。

田中委員。

○委員（田中　允君）　11番の観光振興の対策事業です。観光協会に充ててるけど、具体的に何をやってますかね、こんなところは。

○委員長（宮崎吉弘君）　課長。

○商工観光課長（川口　隆君）　観光協会さんの活動につきましては、通常いろんなイベ

ントなどの情報発信であるとか、あと定期的なイベント、先ほどちょっと部長のほうからも御報告いたしましたけれども、春の藤まつり、秋の観月会、こちらのほうにも観光協会は実行委員会のメンバーとして運営に当たってあります。それ以外にも、観光に係るいろいろなイベントであるとか、そういうものに参加しながら観光の盛り上げをしていただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） 具体的に、もうちょっとぱっと何かやってないの。案内板やらも今ずっとやってきたよね。筑紫野に来たら何とかかんとかで観光……、看板を上げてきたろう、今まで。この人たちは情報発信はどのような形でしようとかなと思って。それが見えんとたい。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○商工観光課長（川口 隆君） 観光協会の今年の新しい動きとしまして、すいません、先ほど説明するべきでしたけれども、筑紫高校の生徒さんとタッグを組んで、観光協会のインスタグラムで高校生のほうが情報発信をするというような取組を今年始められています。これをまた今後も進めていきたいというふうに考えてあります。（「何やったかな、ＪＲのデス……」と呼ぶ者あり） ああ、はい。今年は、春先にDCキャンペーンといって大分と福岡の共同でやるキャンペーンがありましたが、そちらのほうは博多駅でイベントがありましたが、そちらにもブースを設けられて、観光情報の発信をされているところでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） ほか、ありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君） それでは、以上報告をいただきましたので、また今後、今は進捗状況でしたので最後まできちんと、もう配付済みとか終わっている分はそれで承知していただいて、また注視していきたいと思います。よろしくお願ひします。

じゃあ、環境課、商工観光課を終わります。お疲れさまです。

しばらく休憩しますか。（「はい」と呼ぶ者あり） 休憩しますかね。そしたら、11時10分から次を再開したいと思います。

---

休憩 午前10時59分

再開 午前11時10分

---

○委員長（宮崎吉弘君） それでは、会議を休憩前に引き続き再開します。

担当が変わりましたので、部長のほうから職員の紹介をしていただきて、説明に入っていただきたいと思います。

部長。

○建設部長（野田清仁君） 皆様、こんにちは。建設部長を仰せつかっております野田でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、金曜日に引き続きまして、所管事務報告2件ほど御準備させていただいております。どうぞよろしくお願ひします。

本日、説明に当たりまして、建設部所管の課長が出席しておりますので、自己紹介させていただきます。

○建築課長（永利啓次君） 建築課の課長です。永利です。よろしくお願ひします。

○都市計画課長（鶴川和宜君） 都市計画課長の鶴川でございます。よろしくお願ひいたします。

○管理保全課長（菊武秀明君） 管理保全課長の菊武でございます。よろしくお願ひいたします。

○土木課長（深見勝彦君） 土木課の深見でございます。よろしくお願ひいたします。

○建設部長（野田清仁君） どうぞよろしくお願ひします。

○委員長（宮崎吉弘君） では、この1ページずつ流していただきて、質問を受け付けていきますので、よろしくお願ひします。

○建設部長（野田清仁君） 分かりました。

それでは、まず1ページ目から参らせていただこうと思います。1ページ目が、都市計画課所管になります。右側のほうから順次説明させていただきます。

ナンバー1の企業立地促進事業でございます。予算額21万7,000円でございます。内容につきましては、本市に立地したい企業からの相談に応じまして、県との連携した取組を行いながら、企業立地促進条例に基づく補助金の交付事務を行うものでございます。相談件数でございますが、本年度10月末現在で52件の相談があつておるところでございます。昨年度は1年間で49件の相談でございました。

続きまして、2番目の建築確認申請事務事業でございます。予算額633万円でございます。内容につきましては、建築基準法に係る確認申請手続の調査事務及び狭隘道路のセッ

トバック事務を行うものでございます。本年度10月末現在で、確認申請に伴うセットバック件数が7件でございます。

続きまして、3番目のブロック塀等撤去補助事業でございます。予算額につきましては、112万円でございます。内容につきましては、地震等による倒壊の危険性の高いブロック塀等の撤去費用の一部を補助するものでございます。ブロック塀の撤去補助申請につきましては、10月末現在で8件でございます。

続きまして、4番目でございます。第二次都市計画マスタープラン中間見直し事業でございます。予算額329万3,000円。内容につきましては、令和7年度に向けて第二次都市計画マスタープランの中間見直しを行うものでございます。10月末現在まででございますけれども、第1回策定会議を7月30日に開催させていただきまして、10月末までに地域別懇談会を実施させていただいている。山口地域が10月8日、山家地域が10月21日、御笠地域が10月30日に実施させていただいたところでございます。ほかの、あと4コミュニティでございますけれども、既に終了しておるところでございます。

5番目でございます。筑紫駅西口土地区画整理事業でございます。予算額につきましては1億2,261万1,000円でございます。内容につきましては、換地処分公告に伴う区画整理登記や清算金徴収交付事務、並びに国土調査法に基づく地図の作成と認証申請図書の作成に係る業務委託、そのほか施行者として権利者へ交付清算金を支払うものでございます。こちらにつきましては、区画整理の登記が本年の7月25日に完了いたしまして、清算金の交付を実施させていただいたところでございます。その後、国土調査法に基づく地図の作成と認証申請図書を8月30日に作成して、今現在申請手続を行っておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 今、1ページ、説明をいただきました。質疑のある方。

田中委員。

○委員（田中允君） 筑紫駅西口の区画整理ですけどね、もうこれは三、四年になりますな。それで、内訳がどうなってどうなって地元負担が幾らとか、それの一覧表はなかやろうか。

○建設部長（野田清仁君） 事業費。

○委員（田中允君） 事業費の内訳。

○建設部長（野田清仁君） それ、9月議会のときに資料を……。

○委員（田中允君） そうそうそう。もうそげん要らんけん。どんな形で区画整理事業

が成り立っていくよるのかということを知りたいと。170億円ぐらいやったかな、180億円だったかな。

○委員長（宮崎吉弘君） 部長。

○建設部長（野田清仁君） 申し訳ございません。全体事業費の計画事業費は166億8,000万円でさせていただいておって、その後確定した状態ということで、9月議会のときに円グラフとあれで御説明させていただいたところでございますが、いかがいたしましょう。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） ちょっとあまり記憶にございません。分かりやすく。なら、ほかの分かった人はいいけん、分かつとらん俺に頂戴。

○委員長（宮崎吉弘君） 部長。

○建設部長（野田清仁君） そうしましたら、9月議会に御提出させていただいた資料をまたお渡しする形でいいですか。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） 同じものじゃなくて、もうちょっとぴしっと分かりやすく。後でいい。

○委員長（宮崎吉弘君） 部長。

○建設部長（野田清仁君） はい、分かりました。後でまた資料のほうを御準備させていただこうと思います。

○委員長（宮崎吉弘君） ほか、ありますか。

城委員。

○委員（城 健二君） 1番の企業立地促進事業の関係で、相談件数が52件、10月末までにあっていますが、この52件中、うちの筑紫野のほうにぜひ来たい、そして実施したいという回答というか、そういうふうになった件数は何件ぐらいあるんですか、52件中。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○都市計画課長（鶴川和宜君） この52件というのは、一般的な問合せから、漠然とした問合せ、あと、ここに是が非でも来たいんだという分は確かにあるんですけども、ここじゃないといけないというような相談についてはごくごく僅かな話になります。総論として、このぐらいの広さで、こういう土地を探しているけど、そういう土地はないかなという相談が主でございますので、この52件の中で実際立地につながったというところまでは、今現在はありません。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） よろしいですか。

じゃあ、続けて城委員。

○委員（城 健二君） 企業誘致にはやっぱりかなり、何というですかね、精力的にやつていかんとなかなかつながらないものだと思うんですね。市自身は、やっぱり企業誘致に非常に、市長なんかも企業誘致にしっかり頑張っていきたいという話をされている中で、この予算にしても21万7,000円、前年比よりもちょっと増えてはいますけど、これで、いわゆる雇用促進補助金については1,000円という形の中で、どれだけの積極性でやられているのかなという疑問もあったので。以前もちょっと話したかと思うんですけど、やっぱりこの企業誘致というのは、受けじやなくて前向きに、こちらは営業的感覚でやっていくて、どんどんどんどん進めてもらいたいというのがありましたので、この52件中で結局ゼロだったというのは、ちょっと寂しいかなという。向こうが来ないと言うんだったら、それはしようがない。

でも来るときに、こっちは当然市の条件として、こういう条件があるからねという話はされると思いますけど、それで結局はその条件に合うんだったらおいでみたいな感じじゃないのかなと私は思うんですよ。逆にですね。じゃなくて、もっともっと積極的に、これこれこういうふうな条件があるけど、こんな形でやっていけば。ぜひこっちに来てくれというふうな感じの話をしてもらえばいいのかなと思います。どんな話をされているか、私も聞いたことないから分らないんですけどね。もうちょっと積極的な企業誘致に努めさせていただきたいなと思います。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○都市計画課長（鶴川和宜君） 先ほど私の説明が少し悪かったかなと思っているところもあるんですが、今回この52件の中で実際につながった分というのは現時点ではありませんけれども、やっぱり企業を誘致するには一定期間がかかるものでございます。相談があってすぐできるというものではないと。本年度でいきましたら、実際物流施設とかの立地が、いわゆる許可を取って今現地に着工しているというのが数件ございます。それについては、去年とかその前に相談があって、その継続した取組の中で今年度着工に至っているというのが複数件あるというところでございます。

今、委員がおっしゃられましたとおり、受け身ではなく積極的にやっていくということについては今年度からしっかりやっていこうというところで、もちろんタイミングとか相手さんの状況にもよりますので、ちょっと今見計らっている状況ではございますけれど

も、タイミングが来て、市にとって有利なものであるというものが出てきたときには、速やかに取り組みたいと思っているところでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） 古賀の流通団地、あれはもう完全に埋まつたのかな。新聞などでシンガポールの何とかかんとかとか。シンガポールだったかな、あったけど、その後の進捗はどうなっているかなと思ってね。全体の流通団地の。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○都市計画課長（鶴川和宜君） 古賀の流通団地についての御質問でございますが、空きとなっているところは今ございません。全て企業さんのほうで進出をされているというところでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） ほかありますかね。

田中委員。

○委員（田中 允君） シンガポールが来て、仕事を何かしようと、何か。倉庫をつくりようとか何とか。

○都市計画課長（鶴川和宜君） 今、田中委員からシンガポールのということで、メープルツリーさんのお話なのかなと思いますが、メープルツリーさんについては、既に令和5年8月に稼働をされて、今営業をされているという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） ほか、ありませんかね。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君） それでは、次のページをお願いします。

部長。

○建設部長（野田清仁君） そうしましたら、続きまして、お手元の資料の次のページになります。建築課の資料になります。

まず1番目になります。公共建築物中長期予防保全事業でございます。予算額468万2,000円でございます。内容につきましては、公共建築物の更新・長寿命化を目的といたしまして、一定規模以上の改修や解体等に必要なアスベスト調査を実施するものでございます。内容につきましては、もう既に発注をさせていただきまして、起工第37号二日市小学校他石綿定性分析業務委託で発注させていただいています。契約期間については、令和6年7

月12日から令和6年11月29日までとなっております。受託業者はエヌエス環境株式会社でございます。

続きまして、2番目の空家等対策事業でございます。予算額120万7,000円でございます。内容につきましては、相続人不在の空き家について、相続財産管理人制度を活用するため裁判所へ申立てを行うものでございます。こちらについては1件申立てをさせていただいております。令和6年9月19日に清算人の選任を行いまして、申立てをさせていただいているところでございます。

3番目の耐震改修促進事業でございます。予算額480万円でございます。内容につきましては、昭和56年5月31日以前に建築され、耐震診断の結果、耐震性を有しないと診断された2階建て以下の木造戸建て住宅について、改修等を行うための経費に対しての補助をするものでございます。こちらについては、住宅性能向上改修工事補助金申請が6件ございまして、建て替え等に伴う除却工事補助金についてはゼロ件でございました。こちらについても補助申請を受けさせていただきまして、今現在、御本人さんのほうで動いていただいているところでございます。以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君）　ただいま説明を受けました。質疑のある方。

田中委員。

○委員（田中允君）　このアスベストを調査して、結局アスベストはどうなるわけ。どういう形で結果としてなるわけですかね。

○委員長（宮崎吉弘君）　課長。

○建築課長（永利啓次君）　アスベストが、塗装剤とか建材に入っていれば飛散しないようシートとかネットとかで囲って撤去するというふうに法律で決まっていますので、今回9施設調べましたけど、6施設がありましたので、今後工事、改修するときは、きちんと法にのっとって除去するという業務が出てきます。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君）　ほか、ありますか。

田中委員。

○委員（田中允君）　この耐震改修促進事業の建て替え等に伴う除去工事というのは、解体ということかな。

○委員長（宮崎吉弘君）　課長。

○建築課長（永利啓次君）　そうですね。未耐震の建物に対しての解体費用を一部補助させていただいております。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） いいですかね。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君） そしたら、次のページに行きましょう。よろしくお願ひします。  
部長。

○建設部長（野田清仁君） 続きまして、土木課になります。

まず1番目になります。災害関連地域防災がけ崩れ対策事業でございます。予算額1億5,785万8,000円でございます。内容につきましては、令和5年7月梅雨前線豪雨によりまして激甚災害に指定されたことによりまして、筑紫野市地域防災計画に危険箇所として記載されている崖地の崩壊等が発生している3か所の崖崩れ対策工事を行うものでございます。

3か所につきまして、内容でございますが、1か所目が山口地域でございます。尾中酒店裏ぐらいになります、場所はですね。契約件名でございます。起工第3号山口（1）一2地区災害関連地域防災がけ崩れ対策工事で実施させていただいています。工期は、令和6年9月6日から令和7年3月21日、請負業者は亜細亜建設工業株式会社さんでございます。

2か所目でございます。山家7区になります。大体の場所が、JA筑紫山家支店の裏側の辺りになります。契約件名でございます。起工第4号山家地区災害関連地域防災がけ崩れ対策工事でございます。工期は、令和6年9月6日から令和7年3月14日までを予定させていただいています。請負業者は成信建設株式会社さんでございます。

3か所目でございます。山家3区でございます。山家3区の百年ラーメンの裏側辺りになります。起工第5号屋敷地区災害関連地域防災がけ崩れ対策工事で実施させていただいております。工期については、令和6年9月6日から令和7年3月14日までを予定させていただいています。請負業者でございますが、荒川建設株式会社さんで実施させていただいております。

続きまして、2番目でございます。急傾斜地崩壊対策事業でございます。内容につきましては、急傾斜地崩壊対策工事完了に伴いまして、分筆測量業務、区域指定図書の作成業務、それと標柱設置工事を行うものでございます。場所については、筑紫小学校のちょうど南側の斜面のところになります。起工第32号急傾斜地崩壊危険区域指定申請書作成業務委託（筑紫（a）－2地区）でございます。工期については、令和6年9月10日から令和6年12月20日までを予定させていただいて、株式会社フジヤマさんで実施させていただいて

いるところでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 今、説明を受けました。質疑のある方は。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君） なしですので、次のページによろしいでしょうか。

○建設部長（野田清仁君） 続きまして、また土木課になります。

3番目、事業名称でございます、橋梁長寿命化促進事業でございます。予算額3,058万5,000円。内容は、橋梁の定期点検並びに維持補修を行うものでございます。実施している内容でございますけども、こちらが橋長が15メーター以上の橋梁、それと15メーター未満の橋梁に分けさせていただいているところでございます。

橋長15メーター以上の橋梁につきましては、起工第30号橋梁点検業務委託で、令和6年9月13日から令和6年12月27日までで実施させていただいているところでございます。請負業者については、大成ジオテック株式会社さんで実施していただいております。

橋長15メーター未満の橋梁でございますけれども、起工第31号橋梁定期点検支援業務委託で実施させていただいている。工期については、令和6年10月16日から令和7年3月31日まで。こちらについては、財団法人福岡県建設技術情報センターさんで実施していただいているところでございます。

続きまして、4番目でございます。天拝公園周辺整備事業でございます。予算額については4,838万3,000円でございます。内容については、令和5年末に天拝公園北道路を供用開始いたしまして、天拝公園、天拝山、武藏寺など観光資源を利用される方々のさらなる利便性向上を図るために、駐車場等の整備を行うものでございます。備考欄でございますけども、契約件名、起工第36号天拝公園周辺整備工事で実施させていただいている。工期については、令和6年10月18日から令和7年3月21日まで。請負業者は、株式会社ユクタケさんで実施していただいております。

続きまして、5番目の下見道路改良事業でございます。こちらは予算額が1,208万5,000円でございます。内容は、狭隘な道路の拡幅を行いまして安全な通行の確保を図るものでございます。本年度は、用地取得それと設計委託を行うものでございます。現在、契約件名として、起工第21号市道岩野・前田線道路測量設計業務委託として実施させていただきます。工期については、令和6年5月31日から令和6年9月30日までで実施させていただきました。請負業者については、朝倉コンサルタント株式会社さんでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 説明を受けましたが、質疑のある方。

田中委員。

○委員（田中 允君） 下見のこの場所、地点はどこですかね。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○土木課長（深見勝彦君） 場所につきましては、下見の神社の近くの交差点から、美咲の隣保館のほうに向かう……。

○委員（田中 允君） T字路。

○委員長（宮崎吉弘君） 杉があるところ。

○土木課長（深見勝彦君） そうです、はい、その辺りです。

○委員長（宮崎吉弘君） ほかありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君） それでは、次のページの説明をお願いします。

部長。

○建設部長（野田清仁君） そうしましたら、土木課の最後のページになります。

ナンバー6の北杉塚道路改良事業でございます。予算額は749万4,000円でございます。内容についてでございます。狭隘な道路の拡幅を行いながら安全な通行の確保を図るものでございます。本年度は設計委託を行うものでございます。現在、起工第28号油田4号線道路測量設計業務を委託をさせていただいて、工期については令和6年6月13日から令和6年12月23日まで、サンクスエンジニアリング株式会社さんにて実施していただいているところでございます。

続きまして、ナンバー7でございます。市営鷺田川周辺治水対策事業でございます。予算額については1,160万7,000円でございます。内容は、近年の集中豪雨における市営鷺田川周辺の浸水被害を軽減するために、今後の治水対策を検討するものでございます。本年度は基本設計委託を実施させていただいているところでございます。契約件名でございますが、起工第1号市営鷺田川周辺治水対策基本設計業務委託、令和6年4月13日から令和7年2月28日までを予定として、今現在進行させていただいている。請負業者でございますが、ジーアンドエスエンジニアリング株式会社さんで実施していただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 説明を受けました。質疑のある方。

田中委員。

○委員（田中 允君） 7番ですけど、これまた建設費がまた予算で出るかと思いますが、現場だけ教えてもらえばと思ってね。（「予算資料に載ってる」と呼ぶ者あり） そうな、持ってきてとらんやった。それを見たら分かると。いいよ、分かった。

○委員長（宮崎吉弘君） それでは、じゃあ、次のページに行きますかね。お願ひします。部長。

○建設部長（野田清仁君） すいません、続きまして、管理保全課になります。

1番でございます。自転車駐車場管理事業でございます。予算額については、7,685万4,000円でございます。内容は、市内主要駅周辺の8か所の自転車駐車場の管理運営を行うものでございます。今年度10月末現在の自転車駐車場利用台数を記載させていただいています。延べで24万6,770台の御利用がございました。前年度との同月比で比較しますと、103%の利用状況でございます。

続きまして、放置自転車対策事業でございます。504万8,000円でございます。内容でございます。市内主要駅周辺の自転車放置禁止区域内における放置自転車への指導、撤去業務並びに撤去した自転車の保管及び返還業務を行うものでございます。備考欄に10月末現在で記載させていただいています。放置自転車の撤去台数が151台、前年同月比で89%まで減少しておるところでございます。

3番目でございます。自転車駐車場使用料助成事業でございます。予算額561万1,000円でございます。物価高騰対策により、自転車駐車場学生定期駐車券に対して補助を行うもの。補助率は8割を補助させていただいたところでございます。期間については、令和6年4月から7月末までさせていただいて、受付は9月末までそれで受付をさせていただいている。補助金の受給者数は、457件の申請があったところでございます。

4番目でございます。大門高架下駐車場管理事業でございます。予算額2,387万6,000円でございます。内容でございます。九州自動車道高架下駐車場の維持管理及びトイレの改築等を行うものでございます。こちらの大門高架下の駐車台数でございますけれども、令和6年10月末現在で5万9,366台の御利用でございました。ほぼ前年度と同利用でございます。前年同月比で99%でございました。そのうち、駐車料金が発生するのが4時間以上になりますので、4時間以上の駐車台数が6,325台でございまして、前年同月比で比較しますと101.7%でございました。

5番目でございます。公園施設長寿命化促進事業でございます。予算額5,121万3,000円。内容については、公園施設の長寿命化計画を策定いたしまして、予防保全型の施設管理を行うというものでございます。本年度、公園長寿命化計画策定業務委託をさせていただき

まして、工期は令和6年4月13日から令和6年2月28日までで、今現在実施しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君）　ただいま説明を受けました。質疑のある方。

横尾委員。

○委員（横尾秋洋君）　4番の駐車で6,325台、大体年間幾らぐらい駐車料金は上がってますかね。

○委員長（宮崎吉弘君）　しばらく休憩します。

休憩　午前11時42分

再開　午前11時43分

○委員長（宮崎吉弘君）　休憩前に引き続き会議を再開します。

課長。

○管理保全課長（菊武秀明君）　市営駐車場使用料といたしまして、380万7,600円を予定しております。

○委員（横尾秋洋君）　これは年間ですか。

○管理保全課長（菊武秀明君）　すいません、これは5年度の決算額になります。5年度の決算額が387万7,600円の収入があつております。

○委員長（宮崎吉弘君）　よろしいですか。

城委員。

○委員（城　健二君）　公園施設長寿命化促進事業の一番最後の、1件、工期、令和6年4月13日から令和6年2月28日になっていますけど。

○建設部長（野田清仁君）　申し訳ございません。ちょっと記載間違いで、令和7年の2月の間違いです。すいません。

○委員長（宮崎吉弘君）　じゃ、いいですか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君）　それじゃ、次のページをお願いしたいと思います。

部長。

○建設部長（野田清仁君）　最後、管理保全課の最後のページになります。

ナンバー6でございます。総合公園大型複合遊具補修事業でございます。予算額2,684

万6,000円でございます。内容でございます。老朽化している総合公園の大型複合遊具の補修を行うものでございます。整備内容でございますが、緊急性の高い補修工事及び撤去工事を実施させていただいております。内容でございますけど、鋼製タワー、デッキの撤去、ロープやネットの補修関係を合計で6件させていただいているところでございます。

7番目でございます。筑紫公園整備事業でございます。予算額487万1,000円でございます。内容でございます。こちらの筑紫公園でございますけども、良好な自然環境を生かした公園を整備し、自然と調和のとれた都市公園の実現を図るものとして実施している事業でございます。本年度については、不動産鑑定業務委託、立竹木調査業務委託、それぞれ1件ずつ実施させていただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 今、説明を受けました。質疑のある方。よろしいですか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君） それでは、続いて行きましょうか。

部長。

○建設部長（野田清仁君） そうしましたら、ちょっと管理保全課の担当係長を入室させていただいていいですか。

○委員長（宮崎吉弘君） 追加ですかね。

○建設部長（野田清仁君） はい。

○委員長（宮崎吉弘君） しばらく休憩します。

休憩 午前11時46分

再開 午前11時47分

○委員長（宮崎吉弘君） それでは、休憩前に引き続き、会議を再開します。

部長。

○建設部長（野田清仁君） そうしましたら、ただいま管理保全課の公園担当係長を入室させていただきましたので、自己紹介をまずさせていただきたいと思います。

○公園担当係長（原田裕介君） 環境保全課公園担当係長の原田です。よろしくお願ひいたします。

○建設部長（野田清仁君） どうぞよろしくお願ひします。

それでは続きまして、所管事務報告になります。

筑紫公園整備事業についてでございます。

内容については、課長の菊武から説明をさせていただきます。

○委員長（宮崎吉弘君） 課長。

○管理保全課長（菊武秀明君） それでは、筑紫公園整備事業について御説明申し上げます。資料のほうを御覧いただければと思います。

1枚めくっていただきまして、筑紫公園の区域図がございます。

まず、筑紫公園の概要についてですが、これまでの議会でも御説明してまいりましたが、再度簡潔に御説明を申し上げます。

本公園は、本市の南部、小郡・筑紫野ニュータウンの北側、筑紫駅西口土地区画整理事業の南側に位置しており、令和4年4月24日に供用開始しました市道9112号美しが丘北筑紫線に隣接し、同ニュータウン計画において、昭和56年8月1日に都市計画決定した面積約3.0ヘクタールの近隣公園でございます。

また、本公園の東側には、第二次筑紫野市都市計画マスタープランにて、良好な緑地の保全の推進を方針づけた区域が隣接するとともに、平成27年度に発見された前畠遺跡、土壘状遺構の一部が公園区域内に存する状況にあります。

そこで、筑紫公園整備事業については、平成24年4月13日付、都市計画法に基づく事業認可の告示を受け事業に着手してまいりましたが、現在までに全35筆中の28筆の用地買収にとどまっており、9月の建設環境常任委員会でも御報告したとおり、残り7筆の用地取得にはいまだ至っておりません。残り7筆の用地取得に対しましては、平成25年9月から関係者との協議を開始してまいりましたが、用地買収価格での折り合いがつかないことが未取得に至っている要因でございます。

今までの間における協議の中で、用地買収協議が平行線のまま経過した中で、第三者の視点での適正な価格をお知りになりたいと、よって福岡県の収用委員会への収用申請を市から行っていただきたいという申入れもあっていったところでございます。このような経緯を踏まえ、関係地権者と現地物件の確認・立会いを行い、本年11月27日、福岡県収用委員会へ裁決申請書及び明渡裁決申立書を提出し、12月3日、福岡県収用委員会で受理されたところでございます。

さらに、12月6日付にて福岡県収用委員会から、土地収用法の規定に基づく裁決申請書等の写しの送付と併せ、土地収用法第42条第2項の規定に基づく裁決の申請及び明渡裁決の申立てがあった旨等の公告及び縦覧の依頼を受け、本市において12月13日付にて公告、12月27日までの間に縦覧を実施させていただいているところでございます。

今後は、収用委員会において審理が行われ、裁決された後に収用に伴う補償金を支払い、用地取得できる見込みであるものと考えております。裁決までに要する期間は、およそ1年から2年を見込んでおります。

以上、報告を終わります。

○委員長（宮崎吉弘君）　ただいま報告がありました。質疑のある方。

横尾委員。

○委員（横尾秋洋君）　これは地権者のほうでなかなか、数名おられて協議が調わなかつたから、どのくらいの価格になるのか、そうした中で収用法に基づく手続をしてくれということが原因で、それをやっているということですか。それで、まとまれば地権者の人も納得してくれるということでしょうか。

○委員長（宮崎吉弘君）　部長。

○建設部長（野田清仁君）　平成25年から協議をさせていただいたところでございます。

所有者の方は、先ほど課長の菊武が言いましたが、残り7筆の所有者が3名の共有の方でございます。共有持分ですね。そちらと協議をずっとさせていただいたところでございますけども、先ほど課長も申し上げましたように、市が提示する賠償金額、それでもどうしても折り合いがつかないというずっと平行線のまま、これまで経過をしていたところでございます。

その協議の中で出てきましたのは、なかなか納得がいかないよとか、それに代わる換え地をくれとか、そういったお話も中にはあったところでございます。でも、やはり換え地にしても何にしても、もともとの価格が母体となりますので、なかなかそこでまた折り合いかつかないというのが現状でございます。

相手の地権者の方からお話があるのは、市のほうが提示する金額はどうしようもないというのはやっぱり理解をしていただいたものの、なかなかそこでうんとは言ってくれなかったものですから、お話をする中で、県が持っている収用委員会の第三者の意見を聞きたいというお話をされたところでございます。でも、収用委員会となると、なかなか筑紫野市の自治体の中でやった経験がないんですよとか、そういったお話もさせていただいたんですけど、どうしても第三者の収用委員会の意見を聞きたいというお話をされたものですから、最終的には、いろんな裁決申請書を整理する時間とかそういうのもありますよということも御理解いただいた上で、今回、裁決申請書を提出させていただいたところでございます。それで、先ほど経過で課長が申し上げたとおりの手続の流れに今乗っているという状況になったところでございます。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君）　横尾委員。

○委員（横尾秋洋君）　その手続をまた一、二年かかってして、やっぱり駄目やと言われたら、またそれを継続していくという形になっていこうから、土地の強制収用というところまで考えての手続をしているのかどうか、さらにお聞きします。

○委員長（宮崎吉弘君）　部長。

○建設部長（野田清仁君）　一応申請書を上げて、縦覧に今入っておるところでございます。こちらの縦覧の中で、利害関係者の方というのは県の収用委員会のほうに意見書として提出することができるんですね。その意見書を出される状況であろうとは思います。今まで協議をずっと重ねてきた関係する地権者の方と、もう絶対二度と今後ありませんよというところではございませんので、ある程度話しながら、どうですかという話はまた継続していくこうかと思いますけれども、今までの協議の経過からすると、第三者の収用委員会からの裁決、それが出るまでは多分、協議がそこで軟化するというのではないんじやないかなというところがございます。そうすると、裁決が出ると、あとは裁決に基づいての手続に入っていくという流れになるんじゃないかなと、今のところはそういう想定をしているところでございます。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君）　辻本委員。

○委員（辻本美恵子君）　ちょっと何か考え方として、この土地は絶対買わないといけないものなんですかね。例えば、区画整理の中で、道路用地であるとか、あらかじめ決められた住宅地として絶対都市計画として必要だからというところは交渉してもいいと思うんだけど、ここは本来緑地として残していくための、公園としても大規模な開発するわけでもなく、山として置いておくわけだから、どれぐらいの面積かというのはある程度のところでもう。要はなくてもいいんじゃないかなというぐらいの端っこなので、これ、ど真ん中であれば困るけど、端っこであれば、ここまででもいいんじゃないかなという考え方はできないんですかね。

○委員長（宮崎吉弘君）　部長。

○建設部長（野田清仁君）　今、辻本委員が言われますこちらの筑紫公園については、昭和56年8月1日に小郡・筑紫野ニュータウン内の公園として位置づけをさせていただきながら、平成27年に県の事業認可を得て、実際用地買収をずっとやってきた経緯がございます。

この公園については、県の担当部署、公園街路課ともお話をさせていただいたところでございますけども、あくまで事業認可を取得して実施するんだと、もう意思決定をやった公園でございますので、この公園区域から外すということは市としては考えてないということでございます。

今の御意見、地権者と協議する中では、この公園区域から外すことはできないかというお話もやはりあってはいたところでございますけれども、市としてはできませんということを貫してこの3ヘクタールの公園整備をやっていくんだというところでございます。

今言われました、地形的に山があつて緑があるというところもございます。平地をある程度造りながらというのが当初の計画でございましたけれども、今回上のほうには先ほど説明がありましたように、平成27年に発見されました土壙状の遺構がそこにあるというところで、今後どういうふうな手続的にはなっていくのかは分かりませんけども、今現在はそれがあるがためにまだこの公園の整備に入れないというところが現実あるんですが、実質的には地形的には山を使いながらの自然を生かした公園整備という考え方になっていくんじゃないかなという想定はできますけれども、今現在、これを外してやっていくということは考えておりません。

以上でございます。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） ここはもともと調整区域やったとかな、市街化区域やったとかな。

○委員長（宮崎吉弘君） 部長。

○建設部長（野田清仁君） こちらについては、この図面の上段に「筑紫公園区域」と書いてあるところの上に境目がありますね。この上のほうの境目、その境目のところに里道があるんですけど、その里道を境に、色がついているほうが市街化区域で、向こう側が市街化調整区域になります。

○委員長（宮崎吉弘君） 田中委員。

○委員（田中 允君） これは市街化区域ということですね。

○建設部長（野田清仁君） そうです。

○委員長（宮崎吉弘君） ほかありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宮崎吉弘君） それでは、この二つの報告は以上で終了したいと思いますが、委員長として、ちょっと私のほうから意見ですけども、これはあくまで提言というか意見です、意見を言わせていただきたいと思います。

様々事業が予算執行において今進捗しているわけですけども、労務単価は以前、深見課長からも、様々な工事に至っては労務単価は上げておりますというお話を聞きました。ただし、例えば設計業務とかそういう業務委託というのは、少なくともその資料材料というか、そういうものはあまり発生しないのかなと。要は、現場で例えば道路舗装をしたりブロックをついたりということは、今御存じのように物価高、すごく高騰しているわけなんですね。ですから、予算で組まれた状況の中で、業者さんがしっかり仕事をしていただいている上で、やはりそういったところも検討する余地があるんじゃないかなと、私はそういうふうに思っております。一応お伝えしておきますので、今後の検討課題として行っていただければなというふうに思いました。

田中委員。

○委員（田中 允君） そら、入札制度だから、合わんだけば落札せんわけやけんね。そういうでしょう。だから、単価見直しも物価版とかそういうものによって、上がれば上がっていくし、そしてそのようなのを入れとて、業者が落札しきらんやったら、今度はまた見直しするとかね、単価の見直しとかあるけど。現実としては、入札制度で行ってますから、その部分的な見直しはしませんよということやろう。

○委員長（宮崎吉弘君） 部長。

○建設部長（野田清仁君） そうですね。既に発注させていただいている分とか、そういったのについては県のほうからも、要は物価スライドに伴う修正見直し、そういうのが出してくれば通知として来ます。その年度についてはそういった修正をやっていくというのが現状ですね。

もう1点は、年度発注するときには、人件費、そういうのについては単価が決められていますので、それに基づいて実施をさせていただくようになります。

あと、資材関係とかいろんな何かを仕入れるとか、そういう基本的には建築課が一番大きいのかなと思いますけど、建築資材とかそういうのは見積りを徴したり、そういうところから判断をしながら検討はしていくんですけども、今委員長が言われましたように、物価の上がり方とか、ちょっと想定がなかなかしにくいということは確かにありますけれども、そういう等々を頭に入れながら、発注形態、設計書の作成に当たって留意する点としては考えていく必要があるかなと考えているところでございます。

以上です。

○委員長（宮崎吉弘君） それでは、本日の所管事務報告を終わらせていただきたいと思います。お疲れさまでした。

---

散会 午後0時03分